

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1日利用定員10名に対して指導訓練室等のスペースが76.29㎡あり、基準を満たしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	利用者数に応じて職員配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	一部段差等がある箇所には、踏み台を設置するなど対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日の打ち合わせの際にスタッフ全員で問題点を話し合って常に改善を図っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	業務の見直しに役立てています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページ等公表予定ですすすめています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は受けていませんが、法人の内部監査を実施しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	今年度はペアレントトレーニングを3名が受講しました。施設内の研修（虐待防止、自閉症の障害特性に関するもの等）も受講しています。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	初回面談時、生活状況や本人の様子について保護者に聴き取り、ニーズの把握に努めています。利用者の変化に応じて保護に聴き取りを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントシートと児童調査票等で必要な情報を取得し整理しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	チームで内容を検討しながら立案しており、それぞれのスタッフから様々なアイデアが出されています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	利用者の特性・発達段階を考慮しながら、週ごとに活動プログラムを策定し、当事業所に来るのが楽しみになるようなプログラムを組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	季節感のある様々な活動を実施しています。長期休暇中は外出を通して社会のルールやマナー等を学んだり、新しい経験に挑戦できる機会を作っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	本人・保護者の要望を取り入れながら、個別訓練等も組み入れています。集団活動を実施する際は、利用者の性格や特性に配慮しながら実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	業務開始前に必ず確認しています。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	翌日の全職員が揃う引き継ぎの際にその日の予定と昨日の支援の振り返り等を行い、必要に応じて改善策を検討しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日誌・ケース記録ついて、記録に残す視点を職員間で共通認識を持ち、必要に応じてケース検討会議を実施しています。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヶ月毎に子どもの成長や新たな課題について保護者に聴き取りを行いながら職員間で検討し、内容の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	子どもの社会性を育てる経験の幅を広げる機会を大切にしています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所と連携し、児童発達管理責任者が担当者会議に参加しています。
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、対象の児童の利用はありません。
㉓		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用開始時に就学前に通っていた療育機関に状況確認しながら、支援の方針を決める等を行いました。
㉔		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	移行のケースについてまだ対応したことはありませんが、スムーズな移行のために積極的に連携していきます。
㉕		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2月には県医療療育センターの研修を受講予定です。
㉖		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	児童クラブや児童会館との交流の機会はありませんでしたが、地域の子供が遊ぶ近隣の公園等へ出かける機会は多くありました。
㉗		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	秋田市障がい者総合支援協議会児童部会に協力委員として参画していますが、今年度は会議への参集の案内がありませんでした。
㉘		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時に、利用者の様子を伝えて情報共有し、保護者の意向を確認しながら支援方針を決めています。
㉙		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者から相談があった時、ペアレントトレーニングの支援方法等について助言しています。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	見学時や利用契約時、支援内容、重要事項説明書等の説明を行っています。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があった時は助言したり、適切な相談機関の情報提供を行いました。
保護者への説明責任等	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	当事業所として父母の会の活動は実施しておりませんが、発達障がい児の保護者との交流を希望された方には、発達障がい児の親の会を紹介してつなげました。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付体制を整備しております。保護者から話があった時には、迅速に対応しました。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	わくわくだよりを定期的に発行している他、Facebook でも情報発信しながら活動の様子を伝えています。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いには十分注意しています。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	保護者から自宅での取り組みを教えてもらいながら、当事業所でもできる取り組みを取り入れながら支援しています。
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	併設する入所施設のスポーツレクリエーションや夏祭りには放課後等デイサービスの利用者も何名か参加し、地域住民と一緒に行事を楽しむことができました。
	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	園のマニュアルを基に対応し、職員に周知しています。保護者の方には感染症の時期にお知らせをしています。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	当事業所からの出火想定で避難訓練を行いました。非常災害時の備え（備蓄食糧・非常用機材）について確保しています。
非常時等の対応	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止マニュアルを職員に周知し、園内研修も受講した他、日頃から意識づけを図っています。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	やむを得ず身体拘束を行う場合の手順を作成し、研修も行ってはいますが、現在、対象の児童生徒はおりません。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	利用契約時、おやつ提供と食物アレルギーについて確認して対応しております。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	日々の業務で発生したヒヤリハット事例については防止策を策定し、検証も行ってはいます。